

有馬記念館年報 第5号

平成30(2018)年度

令和元年10月
公益財団法人有馬記念館保存会

ごあいさつ

有馬記念館は、昭和 34 年（1959）の久留米市制 70 周年を記念して、石橋正二郎氏（株式会社ブリヂストン社長・当時）より施設を寄贈され、昭和 35 年に開館、その後、久留米の郷土資料館として親しまれてきました。

平成 21 年度には、久留米市制 120 周年と石橋正二郎氏生誕 120 年を記念しまして、施設の改修工事を行い、平成 22 年 11 月 28 日にリニューアル・オープンしました。以来、特別展・企画展など、数々の展示会を開催し、大名有馬家や久留米藩ゆかりの歴史資料・美術工芸品を公開してまいりました。

平成 30 年度にはリニューアル・オープンから 9 年目を迎え、リニューアル・オープン以降、30 年度末までに延べ 82,572 人にご来館いただきました。今後も、郷土資料の収集及び調査、公開を進め、久留米をテーマとした展示会を中心に開催してまいります。

事業の周知のため、平成 27 年度に年報を創刊し、このたび第 5 号を発行することとなりました。当館の活動を知っていただき、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月 31 日

公益財団法人有馬記念館保存会
会長 竹村 政高

目次

I 有馬記念館の概要	1
1. 施設の設置	1
2. 施設の管理	1
3. 施設の概要	1
4. 運営	2
5. 予算	3
6. 開館時間	3
7. 入館料	3
II 平成 30 年度事業の概要	4
1. 展示	4
2. 広報	7
3. 教育普及	8
4. 収蔵資料の活用状況	9
5. 入館者数	10

I. 有馬記念館の概要

1. 施設の設置

有馬記念館は、昭和 34 年(1959)の久留米市制 70 周年を記念して、昭和 35 年に郷土資料の調査・研究を目的に、当時の株式会社ブリヂストン社長・石橋正二郎氏より寄贈されたものである。市制 120 周年にあたる平成 21 年度に改修工事を行い、翌 22 年度にリニューアル・オープンした。

2. 施設の管理

公益財団法人有馬記念館保存会事務局（久留米市市民文化部文化財保護課内）

※当財団は公益財団法人の認定を福岡県知事より受け、平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行。

3. 施設の概要

所在地 福岡県久留米市篠山町 444 番地

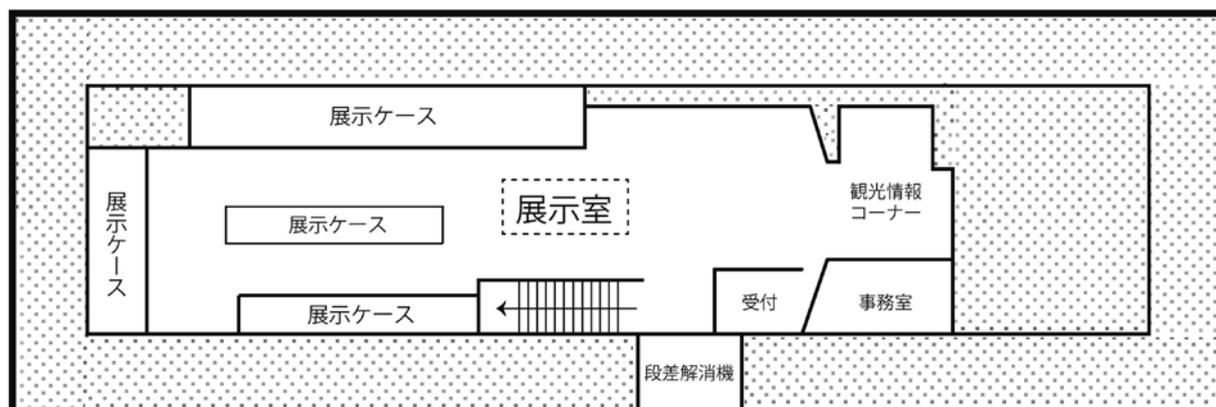
建築面積 492.9㎡

構造 鉄筋コンクリート造 2階建

竣工 昭和 35 年 3 月 28 日

（平成 22 年度有馬記念館内外部改修・耐震改修工事実施）

有馬記念館展示室（2階）平面図



4. 運営

公益財団法人有馬記念館保存会

役員名	氏名	所属
会長	宮原 義治	久留米市市民文化部文化芸術担当部長
副会長	本村 康人	久留米商工会議所会頭
常務理事	西村 信二	久留米市市民文化部次長
理事	山田 茂人	篠山神社宮司
理事	永田 見生	久留米大学理事長
理事	富澤 章	株式会社ブリヂストン九州生産本部総務部長
監事	有岡 正治	株式会社福岡銀行執行役員・県南地区本部長
監事	土屋 尚之	久留米市会計管理者

評議員	中島 年隆	久留米市副市長
評議員	樋口 一成	久留米郷土研究会代表
評議員	河北 宣正	篠山神社総代
評議員	山本 修司	公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会常務理事
評議員	塔田 恒久	株式会社ブリヂストン九州生産本部総務部総務課長

・事務局

事務局長（1）－ 事務局次長（1）－ 事務局員（4）

職名	氏名	所属
事務局長	水島 秀雄	久留米市市民文化部文化財保護課 課長
事務局次長	白木 守	同 課長補佐
書記	岡崎 明美	同 事務主査
書記	神保 公久	同 主任主事
書記	穴井 綾香	同 主任主事
書記	内堀 一弘	同 主任主事

（平成31年3月31日現在）

5. 予算

経常収益費計 16,347,388 円

経常費用計 17,230,912 円

6. 開館時間

開館時間 10:00 ～ 17:00（但し、入館は 16:30 まで）

休館日等 毎週火曜日（火曜日が祝祭日の場合はその翌日）

年末年始 展示替期間

7. 入館料

- ・一般 200 円（150 円） 高校生以下無料 ※（ ）内は 15 名以上の団体料金
- ・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の交付を受けている方及びその介護者 1 名は無料
- ・その他の減免制度あり



有馬記念館 外観

Ⅱ. 平成 30 年度事業の概要

1. 展示

(1) 第 1 回企画展「大名有馬家の武具甲冑」

会 期 平成 30 年 4 月 28 日 (土) ～ 8 月 27 日 (月)

内 容 大名有馬家は、元和 7 年 (1621) の初代豊氏の久留米入城以来、明治維新に至るまで、11 代にわたって久留米藩 21 万石を治めてきました。本展では、格式ある有馬家ゆかりの武具を中心に、全 26 点を公開しました。

刀剣は鎌倉時代から江戸時代後期までの有馬家伝来品、甲冑は 10 代藩主頼永、11 代藩主頼成それぞれの所用品、藩主所用の火事装束や軍配・軍扇などで展示を構成し、関連する絵画資料として騎馬行列の様子を描いた絵巻もあわせて紹介しました。



展示風景

(2) 第2回企画展「久留米藩の幕末維新—大名有馬家臣団Ⅲ—」

会 期 平成30年9月29日(土)～平成31年1月7日(月)

内 容 2021年、有馬豊氏の久留米入城から400年を迎えます。この記念の年に向けて、平成28年度より「大名有馬家臣団」を紹介する企画展をシリーズ化しました。第3弾となる本展では、本年が明治維新150年の節目を迎えることにあわせて、「久留米の幕末維新」をテーマとし、久留米藩の幕末志士や、戊辰戦争に参加した藩兵にまつわる歴史資料全44点を公開しました。

会期中、講演会「久留米城とその城下町」(11月18日、参加者72名)を開催しました。



展示風景



展示風景



講演会の様子

(3) 第3回企画展「ミニチュアひな道具の世界」

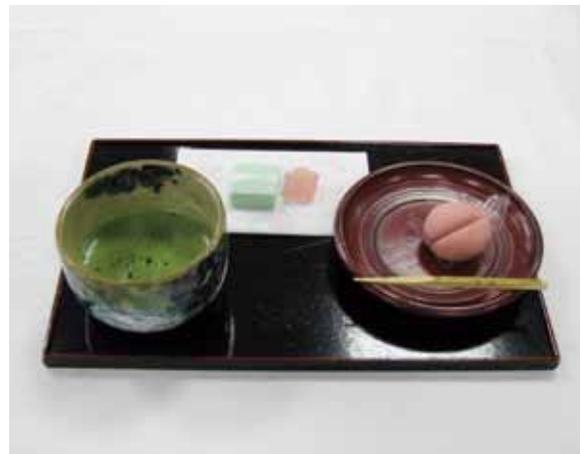
会 期 平成31年2月2日(土)～4月1日(月)

内 容 大名有馬家の姫様が愛用したひな道具は、久留米藩21万石の大名家にふさわしく、職人の卓越した技術で緻密に制作され、小さくも華やかな輝きをいまに伝えています。本展では、銀や磁器、蒔絵や彫刻など、さまざまな素材や技法で作られた姫様のひな道具を、江戸時代の城下町の遊び道具や、昭和の郷土玩具などとともに公開しました。

会期中、関連イベントとして、ひな祭りにちなんだ練り切りの和菓子を作る「手作りひな和菓子講座」(2月23日、参加者18名)を開催しました。



展示風景



イベント風景

2. 広報

(1) 広報活動

◆印刷物

年間スケジュールリーフレット

各企画展のポスター・チラシの製作・配布（3回）

◆ホームページ

展示会やイベントの案内、開館情報等を随時更新

(2) 報道記事

掲載月日	掲載紙等	内容
5月 7日	朝日新聞 朝刊	藩主家伝来 武具甲冑一堂に
5月 15日	広報くるめ	精巧な武具ずらり 大名有馬家の武具甲冑
5月 21日	西日本新聞 朝刊	有馬家の甲冑や刀剣豪華 武者行列図など 26 点展示
9月 30日	朝日新聞 朝刊	激動の幕末に臨む 久留米藩史たどる
10月 1日	毎日新聞 朝刊	「久留米藩の幕末維新」展
10月 4日	西日本新聞 朝刊	久留米藩士の活躍映す 44 点
10月 5日	西日本新聞 朝刊	ツウ！な ランキング 歴史資料で激動の時代を紹介
10月 15日	広報くるめ	戊辰戦争から 150 年 久留米藩の幕末維新
11月 7日	読売新聞 朝刊	幕末久留米藩に焦点 戊辰戦争・志士テーマに紹介
11月 20日	西日本新聞 朝刊	幕末維新 翻弄された筑後 3 藩大名家
1月 15日	京都新聞 朝刊	私の好きな博物館、美術館③有馬頼底さん
2月 3日	朝日新聞 朝刊	藩主家伝来 ひな道具
3月 3日	西日本新聞 朝刊	ミニチュアひな道具の世界満喫 大名家伝来、精巧に縮小

(3) 展示・イベント情報掲載紙

◆新聞

朝日新聞 熊本日日新聞 読売新聞 西日本新聞 中国新聞

◆雑誌等

SECOND 月刊プラザJ 月刊はかた ノーマジーン ご当地新聞くるめすたいる
COCOMI リビング福岡 ホットペッパー 久留米広域圏イベントカレンダー
アン・ナップル ARTNE ほとめき Agena Dogena

◆地方公共団体広報紙

広報くるめ

3. 教育普及

◆学校見学受入れ

6月12日	久留米大学（17名）
10月9日	久留米大学（43名）
10月21日	筑紫女学園大学（21名）
10月30日	久留米大学（30名）
3月13日	久留米市立城南中学校（6名）

4. 収蔵資料の活用状況

◆印刷物掲載

許可日	申請者	目的	内容
5月 11日	朝日新聞佐賀総局	朝日新聞佐賀版「佐賀幕末維新のことば⑥」に掲載のため	有馬頼永肖像
7月 3日	(株)岩波書店	電子書籍「唐物の文化史」に掲載のため	褐釉四耳壺
10月 16日	宮下玄覇	映像作品「古田織部の茶道流転秘話」に使用	有馬豊氏肖像
11月 8日	(株)西広	パネル掲載のため	有馬豊氏肖像 五拾騎一備押前行列の図
2月 15日	久留米市	「歴史散歩」第44号「梅林寺有馬家霊屋」掲載のため	有馬豊氏肖像
3月 2日	月刊「歴史人」編集部	月刊「歴史人」掲載のため	有馬頼貴肖像

◆資料貸出

許可日	申請者	目的	内容
4月 27日	久留米大龍会	有馬豊氏公生誕450年記念行事での展示	<ul style="list-style-type: none"> ・豊臣秀吉奉行人連書法度（御掟） ・古田織部書状 有馬豊氏宛 ・有馬豊氏肖像

5. 入館者数

(1) 平成 30 年度 入館者数 (展示会別)

展示会名	開館日数	入館者数 (人)		
		有料	無料	合計
第 1 回企画展「大名有馬家の武具甲冑」	105	1,347	552	1,899
第 2 回企画展「久留米藩の幕末維新 －大名有馬家臣団Ⅲ－」	83	1,487	416	1,903
第 3 回企画展「ミニチュアひな道具の 世界」	51	1,138	1,063	2,201

(2) リニューアル・オープン～平成 30 年度 入館者数 (年度別)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
入館者数 (人)	4,375	11,264	28,148	5,605	5,388	6,578
展示会数	企画展 2	特別展 1 企画展 3 常設展 3	特別展 1 企画展 1 常設展 3	企画展 2 常設展 2	企画展 3	企画展 4
年度	H28	H29	H30			
入館者数 (人)	8,846	6,116	6,252			
展示会数	特別展 1 企画展 3	企画展 4	企画展 3			

※H 22 は、11 月 28 日リニューアル・オープン以降

有馬記念館年報 第5号

平成30(2018)年度

令和元年10月31日

発行 公益財団法人有馬記念館保存会
福岡県久留米市篠山町444

印刷 香和印刷株式会社
